

英 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON English Course
9	開 隆 堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
15	三 省 堂	NEW CROWN English Series
17	教 出	ONE WORLD English Course
38	光 村	Here We Go! ENGLISH COURSE
61	啓 林 館	BLUE SKY English Course

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	目標の示し方及び具体例
		②	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例
		④	単元等における振り返りの充実	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	小学校外国語科からの接続を図った構成・配列	小学校外国語科との接続を図った内容の掲載箇所及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑥	巻末等資料の工夫	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例
		⑦	学習到達目標の設定	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑧	対話的な学びを促す言語活動の工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容
		⑨	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	目標の示し方及び具体例

	目標の示し方	目標の表記の仕方と具体例（第2学年）
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を提示している。 ○ 単元である Unit ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 6 Research Your Topic [題材]身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 [活動]身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である PROGRAM ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 4 High-Tech Nature <ol style="list-style-type: none"> 1 大きさや程度を比べることについて表現する。 2 生物をヒントにして作られたものについて話す。 3 インタビュー活動などに意欲的に取り組む。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Lesson の活動ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 5 Things to Do in Japan [USE Read] 日本を訪れる予定のニュージーランドの中学校の先生から届いたメールを読もう。 [USE Write] 日本の中学生に人気のあるものを調べてレポートを書こう。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Lesson 中の Part ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 Castles and Canyons <ul style="list-style-type: none"> Part 1 高さや古さなどを比べて、違いを伝えよう。 Part 2 日本の城について伝えよう。 Part 3 自分の住んでいるところについて伝えよう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Unit ごとに関連する領域別の目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 3 Plans for the Summer [Reading] メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 [Writing] 予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Unit の Part ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 7 Let's Compare <ul style="list-style-type: none"> [Part 1] 人やものについて、比較して説明することができる。 [Part 2] つづりの長い形容詞を使って、比較して説明することができる。 [Part 3] 人やものについて、「～と同じくらい…」とすることができる。 [Read & Think] 人気のあるスポーツについての対話文を読んで、概要を理解し、内容について考えることができる。 [Express Yourself] 睡眠時間を比較して発表することができる。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
方法	文，文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

	文，文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名	具体例（第2学年） * want to
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 : A Trip to Singapore ○ Unit 2 : Food Travels around the World ○ Unit 3 : My Future Job ○ Unit 4 : Homestay in the United States ○ Unit 5 : Universal Design 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Food Travels around the World I <u>want to</u> go there sometime. I <u>want to</u> eat curry pilaf.
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program 3 Taste of Culture ○ Program 5 : Work Experience 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program 3 : Taste of Culture I <u>want to</u> see your performance. I <u>want to</u> eat an“American dog.” What do you <u>want to</u> have? I <u>want to</u> have something sweet.
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : My Dream ○ Lesson 5 : Things to Do in Japan ○ Lesson 6 : Tea from China ○ Lesson 7 : <i>Rakugo</i> Goes Overseas 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : My Dream I <u>want to</u> work at a farm. I <u>want to</u> go with you. I <u>want to</u> grow better vegetables and bring more happiness to people. I <u>want to</u> be a farmer. So I <u>want to</u> grow healthy and organic vegetables for everyone. I <u>want to</u> learn technology to improve farming.
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : Our Energy Sources ○ Lesson 3 : Design in Our Life ○ Lesson 4 : Workplace Experience ○ Lesson 5 : How to Celebrate Halloween ○ Lesson 6 : Castles and Canyons ○ Lesson 8 : <i>Rakugo</i> in English 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 : Castles and Canyons What place do you <u>want to</u> visit next? I <u>want to</u> see Himeji Castle.
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Basketball Tournament ○ Unit 3 : Plans for the Summer ○ Unit 4 : Tour in New York City ○ Unit 6 : Work Experience ○ Unit 7 : Amazing Australia ○ Unit 8 : Staging a Musical 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 : Tour in New York City I <u>want to</u> see the Statue of Liberty. I also <u>want to</u> see a musical and go to Central Park. What do you <u>want to</u> see in New York? I <u>want to</u> see Aladdin!
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Traveling Overseas ○ Unit 3 : In Case of Emergency ○ Unit 4 : My Future Dream ○ Unit 6 : Unique Animals ○ Unit 7 : Let's Compare ○ Unit 8 : Working Overseas 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 : My Future Dream I <u>want to</u> help people, too. I <u>want to</u> write stories in the future. I <u>want to</u> develop a useful robot and help people with it.

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例

	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方	第2学年におけるテーマと具体例	
		テーマ	具体例
東 書	○ 「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Write」で日常生活の場面を設定し、Step 1～3で「話すこと」「聞くこと」「書くこと」などの活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホテルでのトラブル ○ 機内放送 ○ ていねいなお願い ○ インタビュー ○ 留守番電話のメッセージへの返信 ○ 天気予報 ○ ホームステイのお礼状 ○ 電車の運行情報 ○ 電車の乗りかえ ○ 留守番電話 ○ 買い物 ○ 商品のコマーシャル ○ 電話でのやり取り ○ 店内のアナウンス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's Talk 2」ていねいなお願い Asami: Excuse me. May I ask you a favor? Woman: Sure. Asami: Could you take our picture? Woman: All right. Say cheese! Asami: Could you take another one, please? Woman: OK. No problem.
開 隆 堂	○ 「Power-Up」の「Listening」「Listening & Speaking」「Speaking」「Listening & Speaking」「Writing」で日常生活の場面を設定し、4技能の活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天気予報を聞こう ○ 電話をかけよう ○ レストランで食事をしよう ○ 空港アナウンスを聞こう ○ メールで近況報告をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Power-Up 2」電話をかけよう Matt: Hello? Kaho: Hello. This is Kaho. May I speak to Matt? Matt: Speaking. What's up, Kaho? Kaho: Hi, Matt. We have a meeting tomorrow, right? Could you bring your sketchbook? We'll need it. Matt: Sure. Thanks for calling. Kaho: See you tomorrow. Bye.
三 省 堂	○ 「Take Action!」の「Listen」と「Talk」で、日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことなどの活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の案内 ○ どんなストーリーなの? ○ チャリティーのお知らせ ○ それはいい案だね ○ 空港のアナウンス ○ 何が起きたの? ○ イベントの紹介 ○ 一緒に遊園地に行かない? ○ ラジオニュース ○ お手伝いしましょうか ○ プレゼントの相談 ○ それもいい案だと思うけど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Take Action!」「Talk 6」それもいい案だと思うけど Hana: What should we get for Mayumi? Dinu: I have an idea. How about flowers? Hana: Well, that's not a bad idea, but cookies might be better. I think she likes sweets better than flowers. Dinu: You're right. Let's make them.

【英語】

<p>教出</p>	<p>○ 「Useful Expressions」で日常的な場面を設定し、そこで使われる表現を紹介している。</p>	<p>○ 校舎案内 ○ 買い物</p>	<p>○ 「Useful Expressions」校舎案内 ALT: Excuse me. Where's the teacher's room? Aya: It's on the second floor. Go up the stairs and turn right. ALT: Turn right on the second floor? Aya: That's right. It's the second room. ALT: I see. Thank you. Aya: You're welcome.</p>
<p>光村</p>	<p>○ 「Daily Life」で日常生活の場面を設定し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を設定している。</p>	<p>○ 電話 ○ アナウンス ○ レストラン ○ 道案内 ○ イベントのお知らせ ○ 体調不調 ○ 観光案内 ○ 音声ガイド</p>	<p>○ 「Daily Life 3」「Scene 3」レストラン 店員: Shall I take your order? 客: Yes, please. Can I have a large-size pizza with three toppings? 店員: Sure. What kind of toppings? 客: Tomatoes, onions, and sausage, please. 店員: Would you like some drinks? 客: Oh, yes. Three sodas, please. Will you bring them now? We're thirsty. 店員: I'll be right back with your drinks.</p>
<p>啓林館</p>	<p>○ 「Let's Talk」「Let's Listen」で日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。</p>	<p>○ 待ち合わせ ○ 旅行の準備 ○ 体調 ○ 天気予報 ○ レストラン ○ 機内 ○ 道案内 ○ 搭乗案内 ○ ショッピング ○ 電話 ○ 場内アナウンス</p>	<p>○ 「Let's Talk 3」体調 アオイ: What's wrong? Are you all right? チェン: I have a headache. アオイ: That's too bad. You should go to the nurse's office. チェン: All right. I will. Thanks.</p>

観点		(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点		④単元等における振り返りの充実
方法		単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定	具体例 第3学年
東書	<p>○ 「GOAL」として、単元の最初に目標を設定し、単元末に「CHECK」として、「題材」と「活動」について4段階で評価するようにしている。</p> <p>○ 巻末に「学習をふり返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学年の5領域別の学習到達目標を Stage 1～Stage 3 まで示し、4段階で評価するようにしている。</p>	<p>○ Unit 1 Sports for Everyone 「GOAL」及び「CHECK」 【題材】障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結び付けるスポーツの力について考える。 【活動】これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。</p> <p>○ 中学3年の目標 (例) 聞くこと Stage 1 クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話であっても、必要な情報や概要を理解することができる。U1, LL2, LL3, SA1</p>
開隆堂	<p>○ “Goal”として、単元の最初に目標を、単元内に振り返りを設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p> <p>○ 巻末資料に「英語で『できるようになったこと』リスト」として、5領域別に学習到達目標を設定し、達成していれば日付を記入するようにしている。</p>	<p>○ PROGRAM 1 Bentos Are Interesting! Goal 1 「人が…するのは～だ」などを表現する。 2 日本や海外の弁当文化について話す。 3 自分の大事なものなどについて、意欲的に表現する。</p> <p>○ 英語で「できるようになったこと」リスト (例) 聞くこと 1 アルファベットを聞いて、どの文字かわかる。</p>
三省堂	<p>○ 巻末に、「What Can I Do?」として、CAN-DO リストを示し、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>	<p>○ What Can I Do? (例) Listen 聞くこと 必要な情報を聞き取る ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ることができる。→Listen 1, 3</p>
教出	<p>○ 単元末に振り返りを設定している。</p> <p>○ 付録に、「Can-Do 自己チェックリスト」を示し、5領域別の学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。</p>	<p>○ Lesson 1 Aya Visits Canada Lesson 1 をふり返ろう ・現在完了形の文を理解して、使うことができる。 ・ホームステイでのさまざまな体験について、英語で理解したり、伝えたりすることができる。 ・ホームステイでのさまざまな体験について、会話を演じたり、まとまった文を書いたりすることができる。</p> <p>○ Can-Do 自己チェックリスト (例) 聞くこと ① 社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。</p>

【英語】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Goal」として、単元の最初に領域別の目標を、設定している。単元の最後に、振り返りを設定している。 ○ 巻末付録に、CAN-DO List を示し、5領域別に学習到達目標を設定し、4段階で評価するようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 School Life Around the World 「Goal」及び「振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。(R-1) ・読んだ記事について、意見を発表することができる。(SP-3) ○ CAN-DO List (例) 聞く Listening L-1 はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の最初に単元の目標を設定している。 ○ 巻末に「Can-Do リスト」として、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 Food Cultures Unit 1 の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・Part 1 これまでに経験したことを言うことができる。 ・Part 2 これまでに経験したことをたずねることができる。 ・Part 3 現在までにやり終えたことを言うことができる。 ・Read & Think ハラル・フードについての文章を読んで、概要を理解し、内容について考えることができる。 ・Express Yourself 好きな食べ物・苦手な食べ物を伝えることができる。 ○ Can-Do リスト (例) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。

<p>観点</p>	<p>(ウ) 内容の構成・配列・分量</p>
<p>視点</p>	<p>⑤小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p>
<p>方法</p>	<p>小学校外国語科との接続を図った内容の掲載箇所及び具体例</p>

	<p>小学校外国語との接続を図った及び内容</p>	<p>具体例 (第1学年)</p>
<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 0 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面の活動しよう ・英語の音と文字 *Unit 1 ~小学校の既習事項には「小」のマークがついている 	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit0 Welcome to Junior High School 「小学校で習った英語表現を①～④の場面で使ってみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ①はじめて出会うクラスメートとあいさつをしよう ②先生の指示に合わせて動こう ③好きなものをたずね合おう (例) A:What food do you like? B:I like curry and rice. ④入りたい部活動について話そう
<p>開 隆 堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Get Ready 1 - 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ！みらい中学校へ ・みらい中学校の仲間たち ・新しい仲間インタビューしよう ・自分のことを友だちに知ってもらおう ○ PROGRAM 0 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを確かめよう ・つづり字と発音 *1年生の前半は、小学校外国語教育新教材と同じフォントを使用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい仲間にインタビューしよう <ul style="list-style-type: none"> ①ミラー先生へのインタビューを聞いて、わかったことをメモしましょう。 ②「なりきりインタビューゲーム」をして、たくさん質問合いましょう。 <質問カード> Do you like ~? / Can you play ~? / Are you ~? / When is your birthday? / What do you want to be? / Where are you from? ③先生に英語でたくさん質問をして、わかったことをメモしましょう。 ④友だちにたくさん質問をしましょう。例を参考に、聞きとったことを下の表に記入しましょう。

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ Hello, Everyone! ○ Starter 1 - 3 ・英語の文字と音 ・コミュニケーションを楽しもう(1)(2)</p> <p>*Lesson 1 - 3 小学校で体験した場面で話される会話を聞く・話すから始まっている</p>	<p>○ コミュニケーションを楽しもう(1) 聞いてみよう ①ケイトと丘先生が、わかば中学校の行事予定表を見ながら話しています。いつ、どんな行事があるか聞いてみよう。 ②ケイトがバースデーパーティーの写真を見せながら丘先生と話しています。それぞれの誕生日について聞いてみよう。 話してみよう ペアやグループで、学校の行事や、あなたの誕生日について話してみよう。</p>
<p>教出</p>	<p>○ Springboard 1 - 4 ・Nice to Meet You! ・さまざまな会話 ・音声から文字へ ・Sugoroku *Lesson 1 - 3 身近な生活に即したコミュニケーション活動を重視している</p>	<p>○ 小学校で学んだ表現を使ってすごろくゲームを楽しみましょう。 (例) When is your birthday? / Talk about your treasure. What time do you get up? / Where do you want to go? What sports do you like? / What can you do?</p>
<p>光村</p>	<p>○ Let's Be Friends! 1 - 7 ・言葉で人とつながろう ・好きなものでつながろう ・世界のどこかへ行ってみよう ・数字を聞いて動物を探し出そう ・誕生日をたずね合おう ・アルファベットを聞いて書こう ・英語の音とつづりを確かめよう *Unit3 までを、準備期間として文字を読む負担を少なくしている</p>	<p>○ 世界のどこかへ行ってみよう Kazuki: Where do you want to go? Nick: I want to go to Speak 自分の行ってみたい国に✓を入れましょう。グループになってたずね合い、いちばん人気のあった国名を書きましょう。 Write 自分の行ってみたい国を下に書きましょう。</p>
<p>啓林館</p>	<p>○ Let's Start 1 - 7 ・学校での会話を聞こう ・町での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・英語の文字が表す音を聞こう ・英語の文字が表す音に慣れよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう *小学校英語でも採用されている 5 : 6 : 5 の 4 線を使用</p>	<p>○ 英語を聞いて使ってみよう (例) 小学校の思い出の行事を言ってみましょう。 My favorite memory is the <u>school trip</u>. It was great. あなたが参加したい部活動や、してみたいことを言ってみましょう。 I like <u>tennis</u>. I want to <u>join the tennis team</u>.</p>

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑥巻末等資料の工夫
方法	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例

第2学年			
	巻末資料等の内容	語彙リストにおける表記の仕方と具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料編」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Optional Reading①・② 2 名作鑑賞 3 小学校の単語 4 Word List 5 形容詞・副詞比較変化表 6 不規則動詞変化表 7 2年 Key Sentence・Today's Point 一覧 8 1・2年 表現のまとめ ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Word Room 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の外国語科でふれた主な語を一覧にしている。 ○ Word List <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で出てきた語と意味を一覧にしている。 ・特に覚えたい語を太字で表記している。 ・その意味が初めて出たページを数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。 ・その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。 ・「小学校の単語」に・(赤点)を付けている。 	<p>as [æz/əz] 接 前</p> <p>接①【時】…のとき、…するにつれて</p> <p>②【比較】～と同じくらい… [ふつう as...as ~の形で用いられる。前の as は副詞]</p> <p>前①…として</p> <p>②…のような as for…について言えば twice as...as～より2倍…</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Scenes のまとめ 2 クイック Q&A 3 英語の音声 4 英語のつづり字と発音 5 短縮形のまとめ 6 数の言い方 7 アイディアの広げ方 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 台所 11 単語と熟語 12 英語で「できるようになったこと」リスト 13 Try のまとめ 14 いろいろな職業 15 日本の祝日・学校行事 ○ 「付録」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・アクションカード1～4 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語と熟語 <ul style="list-style-type: none"> ・この教科書で初出の単語及び連語を太字で表記している。 ・この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。 ・特に重要な語を*印で表記している。 ・その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを太字の数字、初めて出た学年を四角囲みの数字で表記している。 ・辞書で熟語などを調べるとき、まず調べるとよい単語を本の記号で表記している。 	<p>*as [æz/əz]</p> <p>副 (as～as...の形で) …と同じくらい～</p> <p>前～として not as～as...…ほど～ない</p>

【英語】

<p style="text-align: center;">三省堂</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Songs 英語の歌 2 Further Listening English <i>Rakugo</i> 3 Further Reading1 Houses and Lives 4 Further Reading2 Courage 5 Sounds つづりと発音 6 基本本文のまとめ 7 いろいろな単語 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 数の表現と数の読み方 11 単語の意味 12 会話表現 13 Role-Play Sheet ロールプレイシート 14 Audio Scripts スクリプト 	<p>○ 単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・() の中には省略できることば, [] の中には置き換えられることば, (()) 中の言葉は解説が表記されている。 ・数字は2年で初めて出るページを表記している。(イタリック体の数字は1年までに学習したことを表す。) ・①は1年で学習した語を表記している。 ・大切な語をゴシック体で表記している。 ・特に大切な語をゴシック体の太字で表記している。 ・覚えておくと便利な語を印字体で表記している。 	<p>as [æz]</p> <p>前 1. …として, …の時に, —my goal <i>as</i> a farmer. 2. [such as...] …のような, —visitors <i>such as</i> families, students, and tourists.</p> <p>接 1. [比較] [as...as A] Aと同じくらいに…((前の as は「それと同じだけ…」の意味で副詞, あとの as が「(Aが) …である[する]ように」の意味で接続詞)).—My cat is <i>as</i> cute <i>as</i> yours. 2. [時間] (…する) 時に; …しながら.—The Little Prince said, “That’s sad.” <i>as</i> he left.</p> <p>副 [as...as A] Aと同じくらいに….—My cat is <i>as</i> cute <i>as</i> yours. such as...たとえば…のような.</p>
<p style="text-align: center;">教出</p>	<p>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 語形変化のまとめ 2 形容詞・副詞比較変化表 3 不規則動詞変化表 4 重要構文復習リスト 5 辞書についていっしょに学ぼう! 6 Word List 7 筆記体 <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Tips④活動用カード 2 つづりと発音 3 Can-Do自己チェックリスト 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てきた語と小学校で既出とみなした語の発音と意味を表記している。 ・活動や Further Reading で出てきた語で、未習のものは後掲している。 ・特に覚えたい単語を太字で表記している。 ・その意味が最初に出たページを数字で表記している。 ・小学校で既習とみなした語と中学校1年で既出の語は数字をイタリック体で表記している。 ・小学校で既出とみなしているが、中学校2年の教科書では未出のものは白抜き④で表記している。 ・①は中学校1年で既出の語を表記している。 	<p>as [əz]</p> <p>接 ①→such ②(～する) ように <i>as</i> you know ご存じのように ③ [as ~ as...] で …と同じくらい～ <i>as well as</i> ~ ~と同様に</p> <p>前 ~として</p>

【英語】

<p>光 村</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <p>1 Your Coach</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスニングを得意にしよう ・話す内容を詳しくしよう ・英文を読むコツをつかもう ・得意な話題を増やそう <p>2 Sing a Song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・You'll Never Walk Alone ・I Just Called to Say I Love You ・A Whole New World <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <p>1 Let's Read More</p> <ul style="list-style-type: none"> ・The Statue of Liberty ・Aboriginal Art <p>2 英語のしくみ</p> <p>3 数字の読み方／短縮形のまとめ</p> <p>4 音声のまとめ</p> <p>5 不規則動詞活用表／形容詞・副詞の変化表</p> <p>6 Word List</p> <p>7 基本文のまとめ</p> <p>8 CAN-DO List</p>	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った語を花びらの記号で表記している。 ・数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを表記している。 ・①は1学年で既出の意味を表記している。 ・特に重要な語は太字で表記している。 	<p>as [æz /əz]</p> <p>前 ~として</p> <p>副 同じくらいに</p> <p>as~as... …と同じほど~</p> <p>接 ~するように</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <p>1 こんなときどう言うの？</p> <p>2 メール</p> <p>3 ジェスチャー</p> <p>4 英語の歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Top of the World ・I Just Called to Say I Love You <p>5 2年基本文のまとめ</p> <p>6 英語のつづりと発音</p> <p>7 不規則動詞変化表</p> <p>8 形容詞・副詞比較変化表</p> <p>9 数の読み方</p> <p>10 Word Box</p> <p>11 Word List</p> <p>12 Can-Do リスト</p> <p>13 ローマ字表 [ヘボン式]</p>	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に覚えておきたい語を太字で表記している。 ・2年の教科書で初出の単語や連語を数字で表記している。そのうち、Let's Listen, Project で出たページをイタリック体の数字で表記している。 ・その語や連語が Let's Listen, Project で先に出たときは、となりに後掲ページを示している。 ・①は1年でその語や連語が出たことを表記している。2年でも新出語句として取り上げている語や語句については、①のとなりにページを表記している。 	<p>as</p> <p>前 ~として</p> <p>接 [as~as...で] …と同じくらい~</p>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦学習到達目標の設定
方法	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所と具体例

	学習到達目標の設定場所	学習到達目標の具体例 (第1学年末「書くこと」)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「学習をふり返ろう CAN-DO リスト」 ○ Stage1～Stage3として、段階ごとに各領域の1学年学習到達目標を設定し、それぞれを4段階で自己評価できるよう示している。 ○ 2学年末、3学年末の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末資料「英語で『できるようになったこと』リスト」 ○ 領域毎に3年間を通しての学習到達目標を設定し、できるようになったことには日付の下に○を付けるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な話題(外国の文化、国際協力、社会問題など)について、聞いたり読んだりした内容に関して感じたことや考えたこと、その理由などを書くことができる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「What Can I Do?」 ○ 領域毎に2～4項目の1学年学習到達目標を設定し、できるようになったことにチェックをするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正確に書く 自分を紹介する短い文章を書くことができる。 ○ まとまりのある文章を書く 学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「Can-Do 自己チェックリスト」 ○ 領域毎に1～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。 ○ 2学年、3学年の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のことについて、日記、手紙、スピーチ原稿などの短い文章でまとめることができる。 ○ 聞いたり読んだりして把握した内容を、短い文章でまとめることができる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO List」 ○ 領域毎に2～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読まれた文字や語句を活字体で書いたり、簡単な語句や表現を書き写したりすることができる。 ○ 自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、書くことができる。 ○ 日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO リスト」 ○ 領域毎に3項目(ア・イ・ウ)の学習到達目標が「中学3年生までにできるようになること」として設定し、できるようになった項目にチェックをするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑧対話的な学びを促す言語活動の工夫
方法	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容
	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容 (第2学年「複文 (I think that ～等)」を扱った単元)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Food Travels around the World ・ Practice 自分が難しいと思う教科について、「…は難しいと思います」という文を言い、ノートに書く。 ・ Unit Activity STEP1 自分の好きな食べ物やお気に入りのレストランについて、表にまとめる。 STEP2 ペアになり、STEP1 で作った表をもとに自分のお気に入りのレストランを紹介し合う。また、相手の紹介を聞いて、重要だと思う情報はメモを取る。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 2 : Leave Only Footprints ・ Try 自分たちの学校についてどう思うかを話す。 ・ Interact 以下の二つのテーマについて、グループなどで自分の考えを伝え合う。 ①Our School Trip 修学旅行の自由行動では、どこに行ってみたいか。 ②A Good Pet ペットにするならどんな動物がよいと思うか。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 : Fun with Books ・ Speak & Write おすすめの本や漫画、映画などを紹介し、紹介したことを書く。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 : Service Dogs ・ Think & Try! 会話を演じた上で、その英文をヒントに、質問したり、自分の考えを言ったりするなど、自由にやり取りを加える。 Bob: There aren't enough guide dogs. Aya: Why not? Bob: These dogs live with puppy walkers for about a year. Then, they need training for another year. Aya: I see. It takes time and effort.
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Basketball Tournament ・ Speak, Write 一番良い季節、難しい教科について、自分の考えをペアで伝え合い、そのうちの1つを選んで英語で書く。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 3 : In Case of Emergency ・ Use 質問 (Do you think that fast food is good?) に対して、自分がどう思うかを理由も加えて言い、言ったことを英語で書く。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨ 4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動の工夫
方法	4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

	4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所	4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動のテーマ及び具体例 (第 3 学年)
東書	○ Unit Activity ○ Stage Activity	○ Stage Activity 1 : My Activity Report (テーマ) これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。 ・STEP 1 : 二人の活動報告を聞いてメモを取る。 ・STEP 2 : 自分の活動について報告したいことを表にまとめ、即興で発表する。 ・STEP 3 : 自分が話した文を書き起こした上で、グループでアドバイスや質問を伝え合い、それを参考に活動報告の原稿を書き直す。 ・STEP 4 : もう一度活動報告を発表し合う。
開隆堂	○ Our Project	○ Our Project 8 : あなたの町を世界に PR しよう (テーマ) 世界に PR したい町にあるものや場所を発表する。 ①モデル PR 動画を聞いたり、台本を読んだりする。 ②PR するものを表にまとめ、台本を考える。 ③台本を基に PR を演じる練習をする。 Go! 他のグループと PR を聞き合ったり、質問し合ったりする。PR を聞き終わったら、一番良い PR をしたペアをディスカッションして決める。
三省堂	○ Project	○ Project 1 : 日本限定アイスクリームを提案しよう (テーマ) 日本限定アイスクリームのアイデアを考え、提案する。 1. Listen: 二つのグループのモデル提案を聞く。 2. Think & Talk: 新しいアイスクリームのアイデアを話し合い、表にまとめる。 3. Read: モデルとなる提案原稿を読む。 4. Write: 提案するための発表原稿を書く。 5. Speak: 日本限定アイスクリームについて発表する。
教出	○ Project	○ Project 1 : CM をつくって発表しよう! (テーマ) あったら良いと思う商品やサービスについて CM を作り、発表する。 ①CM を聞いて、商品やサービスの特徴などについてメモを取る。 ②あたら良いと思う商品やサービスについて話し合い、表にまとめ、CM の原稿を英語で書く。CM を発表する。
光村	○ 各単元の Goal ○ You Can Do It!	○ You Can Do It! 2 : 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう (テーマ) 学校に必要なものについて考え、ディスカッションする。 ・Reading : 二人の中学生の提案を読み、賛成か反対かを考える。 ・Thinking: 二つの提案のどちらかを議題として選び、立場とその理由を整理する。 ・Speaking: 賛成派と反対派に分かれ、ディスカッションを行う。
啓林館	○ Project	○ Project 2 : 日本の伝統行事を紹介しよう (テーマ) 紹介したい日本の伝統行事について、紹介文を書く。 ①日本文化を紹介するウェブサイトの記事を読んで、内容を表にまとめる。 ②日本の伝統行事を 1 つ選び、ウェブサイトに載せる紹介文を書く。書いた原稿を交換して読み合い、アドバイスする。